

学校目標  
自主感性共生

杉並区立東原中学校  
令和6年度 6月号

HIGASHIHARA  
JUNIOR HIGH SCHOOL  
Lがいはら

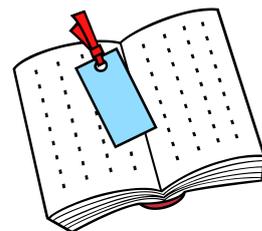
6月

## 「年間 700 冊読みます！」

校長 岩本 眞由美

女優であり大学生の芦田愛菜さんが小学校低学年の時に発した言葉「年間 700 冊読みます！」です。今では読書好きであることは有名です。

芦田愛菜さんが天才子役と賞賛され、テレビによく出ている幼少の姿は私には正直なところ好ましく映りませんでした。



3, 4 歳の頃、愛菜さんがある動物番組に大人に囲まれて出演していました。

周りの大人たちが涙ながらに話し始めると、愛菜さんも顔をくしゃくしゃにしながら涙を流し始めました。その姿を見て「この子は内容を理解することもできないのに、大人たちの泣く姿を見て自分も泣かないといけないと判断し、このような状況でも演技できる子なんだ。天才子役ってこういうこと？」と私は思ってしまいました。

それから数年後、彼女が小学校低学年の時、あるインタビュー番組に出演していました。まず驚いたことに、大人と対等に会話ができていました。とても低学年とは思えない語彙力があり、大人も子ども扱いせずに会話を楽しんでいるように見えました。「これは台詞を覚えた演技ではないはず。どうしてこんな会話ができるの？」と私は衝撃を覚えました。司会者が「愛菜ちゃんは本が好きなんだって？」と聞くと、彼女は「はい。年間 700 冊読みます。」と答えるではありませんか。すかさず、司会者が無理でしょと言わんばかりに「年間 700 冊って、一日約 2 冊読むってことだよ？」と聞くと、彼女はニコニコ顔で「頑張ります。今は若草物語を読んでいます。」と答えていました。年間 700 冊とはとんでもない数字だと思いませんか。彼女が読んでいる本は、低学年とはいえ薄い本ではありません。

私の穿った見方を恥じました。芦田愛菜さんは、幼少から芸能界という世界で仕事をし、時間を見つけてたくさん本を読むことから知識や語彙力を豊富に身に付け、素敵な大人へと成長してきたのです。

近頃では、人工知能(AI)の活用によって便利な生活になってきました。記憶力とか論理的思考力など、多くの分野で AI のほうが人間よりも正確で速いといわれています。しかし、AI は文章の意味を読み取ることが苦手であることもわかっています。人間の勝っている能力とは、この「読解力」です。つまり、言葉の意味をその文脈から理解したり、長い文章の中で要するに何が言いたいのかを把握する力です。そのためには、文章を読むことです。スマホの普及のせいか、本も新聞もあまり読まれなくなりつつあるように感じます。

### 6月 11 日は『学校図書館の日』。

芦田さんの年間 700 冊のように、目標をもって本を読んでみませんか。ちなみに私は、年間 200 冊をめざします。図書館にいき、本・新聞を読みましょう。

## 【6・7月の主な予定】

17日(月) …期末考査(～19日)	2日(火) …避難訓練 部活動体験(～4日)
20日(木) …音楽鑑賞教室(2年)	3日(水) …杉九小体験授業
24日(月) …生徒朝会	5日(金) …保護者会
26日(木) …道徳授業公開	8日(月) …専門委員会・学校委員会
28日(金) …自転車安全利用講習会	11日(木) …普通救命講習(1年)
7月1日(月) …理科出前授業(2年～2日)	12日(金) …生き方を学ぶ講座

※今月の主な予定は発行時点のものです。社会情勢等の変化により、変更となる場合があります。

### 教育活動の紹介

大きな予定の変更などは、tetoru等でお伝えします

#### 【ネットケータイ安全講座(1年) 5月16日(木)】

気になったり、困ったりした時に、すぐ調べると答えが出てくる便利なネットについて学びました。便利が故にルールを守らないと被害者になってしまうことの怖さを教えていただきました。スマートフォンに操られるのではなく、上手にスマートフォンを使えるようにしてほしいと思います。ルールに縛られるのではなく、自分を守るためのルールとして、楽しく使っていきましょう。

#### 【生徒総会 5月17日(金)】

委員会の活動方針を学校全体で確認し、みんなで学校をよりよくするための目標や取り組みを承認しました。各専門委員の委員長がそれぞれ話しあった内容を自分の言葉でしっかり伝えていました。

委員会に所属せずとも、生徒全員の協力なしでは委員会の活動は成り立ちません。学校全体で真剣に話を聞き、良い生徒総会になりました。



#### 【運動会 6月1日】

天気に恵まれ、無事に第75回運動会を行うことができました。今年度は久しぶりに全学年が3クラスということもあり、縦割り対抗の種目を行いました。今まで、クラスごとに跳んでいた大なわを、クラスで3つのチームに分かれ、A組のXチーム、Yチーム、Zチーム…と学年をまたいで一緒に跳びました。練習の時から3年生を中心に声を掛けて、本番も息を合わせて跳んでいました。また、縦割りで各クラス男女1名ずつ選出し、色別対抗リレーも行いました。同じクラスの仲間だけでなく、学年を越えて自分たちと同じ縦割りの先輩や部活の先輩を応援する姿が多くありました。1年生は初めての学校行事でしたが、精一杯とりくんでいました。2年生は先輩のサポートをしつつ、昨年度とは違う力を発揮していました。3年生は最上級生として、東原中の伝統の思いや、全力で取り組む姿を後輩たちに見せてくれました。この経験を今後の学校生活にも生かしてほしいと思います。

